

平成30年度図書館協議会概要

日 時 平成30年6月22日（金）
午後2時から午後3時15分
場 所 戸倉庁舎 4階 第2会議室

1. 開 会 （生涯学習課長）
委員への任命書の交付 （赤地教育長）
2. 教育長あいさつ （赤地教育長）
3. 自己紹介
4. 正副会長の選出について 会長は河原才校長、副会長は宮下明希子司書を選出
4. 協議事項
 - (1) 千曲市立図書館の概要について 事務局説明
 - (2) 平成29年度事業報告について 事務局説明、質疑応答後採決、承認
 - (3) 平成30年度事業計画について 事務局説明、質疑応答後採決、承認
 - (4) 図書館運営についての意見交換

委員から出された主な質問及び意見	市（事務局）の説明及び回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 有線による図書広報について、戸倉上山田地区には有線がない。有線に代わる方法、例えばケーブルネット千曲の無料掲示板などを活用してみてもどうか。 ○ ブックスタート事業について、昨年度の対象者と贈呈者の数字は。 ○ 昨年よりも贈呈率は低下しているが、対応についてどう考えているか。 ○ 児童センターなどの市民文庫について、設置目的や周知方法は。子育て広場に参加すれば、保護者も本を借りられるので。 ○ セカンドブック事業は初めて実施し、20冊の本から選べるようにしたが、どの本が多く選ばれたか。 ○ 図書館の役割には、資料閲覧だけでなく、将来に備えての資料整備が必要。歴史文化財センターもあるが、殆ど利用されていない。新庁舎完成後には上山田庁舎へ移転予定であり機能充 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在屋代・埴生有線での広報に併せ、現在ケーブルネット千曲での図書紹介を検討中。今後も進めて参りたい。 ○ 更埴地区:対象者 358 名中贈呈者 184 名、51%。 戸倉上山田地区:対象者 152 名中贈呈者 108 名、71%。全体では対象者 510 名中 292 名贈呈、57%であった。 ○ 対象者に直接通知し、欠席の場合も再通知をしている。HPでも周知しているが、更に周知方法を検討して参りたい。 ○ お話のとおり、子ども・保護者双方にご利用いただく目的である。現在児童センター側の希望は児童書のみであるが、一般図書についてもセンターと協議して参りたい。 ○ 各小学校別申込状況より報告。申込の多かった順では、下記に示すとおりだった。 <ul style="list-style-type: none"> ・『ホネホネどうぶつえん』 79 冊 ・『りんごかもしれない』 78 冊 ・『にじいろのさかな』 55 冊 ・『おはなしきょうしつ』 48 冊 ・『エルマーのぼうけん』 46 冊 ○ 現在、図書システムの更新中であるが、新システムの特長として「データのデジタル化」や、HP上での更新などの機能がある。詳細確認はこれからであり、データ開示方法・作業予定は未定だ

<p>実もされようが、一般市民の利用は難しい。図書館がセンターからデータを借用することについて、どのように考えているか。また郷土資料は現在全館で1万2千冊余と多数所蔵されている。この活用については、どうか。</p> <p>○ 読み聞かせなどで絵本などを利用しているが、本が古く、状態が悪くなっていく。新刊本の購入だけでなく、良い物は「新しい」物を購入してほしい。また、紙芝居を選別し、増やしてほしい。</p> <p>前に中学生が来ていたとき、絵本を並べる作業があったが、小さい絵本から大きい絵本の順になっており非常に見やすかった。参考にしてほしい。</p> <p>司書の方々には、要望した図書を探してもらうなど大変お世話になっている。これからもよろしくお願ひしたい。</p> <p>○ 保護者から、月曜日休館について市内3館の内1箇所でも開館してほしいという意見があった。また夜7～8時位までの開館延長を希望する意見もあったが、検討頂けないか。</p> <p>○ 時間外貸出については可能か。川上村の図書館は夜、貸出している。 (他の委員から)</p> <p>○ 川上村営図書館での勤務経験あり。24時間対応のうち9時～5時半頃、金曜日は10時～6時半ごろまでが司書が、夜間は機械が対応していたが、夜間は全図書ではなく文庫コーナーの図書だった。</p> <p>○ 7ヶ月で絵本プレゼント、小学校1年生でセカンドブックの事業を実施しているが、2～3歳時にも絵本をプレゼントする機会を設けてほしい。</p>	<p>が、各館が管理する貴重な資料のデジタル化は必要と認識しており、取り組んで参りたい。</p> <p>○ 除籍した180冊余の絵本は、使用に耐えなくなったものである。また過日逝去した「かこさとし」さんなど、三世代にわたる読者を持つ作者の作品は新版本を購入するなど、確認・検討しながら進めて参りたい。</p> <p>並べ方も、更埴はタイトルのあいうえお順、戸倉は作者ごとにまとめているなど違いはあるが、今後も気持ち良くご利用頂けるよう、努めて参りたい。</p> <p>○ 休館日については条例に記載されており、変更する場合は改正が必要となるため、すぐには難しいと考える。開館延長については、数年前更埴図書館において夏季限定で、閉館時間を午後6時から午後7時に変更して実施した経緯がある。このとき来館者は殆ど無く、調査研究室の学習席の利用延長のみで利用者増とはならなかった。今回の要望に対しては今後検討して参りたい。</p> <p>○ 現在更新予定の新システムでは、時間外貸出の対応はなく、貸出機の導入も考えていない。図書無断持出し防止システムの導入には数千万円の予算が必要となる上、防止のシール・バーコードを手作業で図書に貼り付ける作業が加わるため、現時点では難しい。</p> <p>○ 要望としてお聞きする。</p>
---	---

委員出席者 河原才、宮下明希子、寺澤孝一、宮崎衛、滝沢通雄、竹内長生、小林いせ子、北原美知子、桑原悦子 以上9名 (欠席：後藤実里)

事務局出席者 教育長 赤地憲一、生涯学習課長 北村章、更埴図書館長 北島正光、戸倉図書館長 安西治夫、更埴図書館兼戸倉図書館業務係長 永井洋一、更埴図書館司書 高橋博子、戸倉図書館兼更埴図書館主査 宮崎摩紀